

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	学校施設耐震化推進事業	会計	一般会計	事業No.	714	施策順No.	41-034
事業種別	政策・重点	予算科目		10-2-3-11-9			
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり	課等名		学校教育課			
施策	41 災害対策の推進	事業期間	開始	17	終了	23	

1 事業の目的

事業の目的 は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象 誰、何に	飯田市立小中学校の建物で昭和56年度の建築基準法施行令改正以前に建築した建物のうち、鉄骨造及び鉄筋コンクリート造で耐震上安全性が確保されていない建物のある学校	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	A:十分達成した B:どちらかといえば達成した C:どちらかといえばできていない D:ほとんど達成できていない	
		S56以前に建築した建物のある学校数		23	23	23	23			
事業の目的 は「対象」を「意図」した状態にすることです	意図 対象をどう変えるか	地震に対しての安全性が確保される 災害時の避難施設としての耐震性が確保される	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度 実績	20年度 実績	21年度 実績	22年度 目標	22年度 実績	23年度 目標	目標達成度 A
		第二次耐震診断及び実施設計の実施済校数		7	14	20	23	26	29	
22年度の目標達成度に対する振り返り 【政策的事業のみ評価】	事業の制度 (仕組み)説明	耐震補強工事の対象学校比率 (%) (耐震補強工事の実施済校数/対象学校数)		30	61	87	100	100		
		耐震補強工事は完了することが出来た。飯田西中学校屋内運動場改築事業及び鼎中学校武道場改築事業については、一部23年度へと繰り越している。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度 (仕組み)説明	事業内容			名称	活動量・単位
	22年度 事業内容	23年度 実施計画	22年度 実施計画		
	1 H20第二次耐震診断実施校の耐震補強工事 (1)上久堅小、鼎中、飯田西中			耐震補強工事実施校	3校
		1 鼎中武道場改築改築工事、飯田西中体育館改築工事 (22→23繰越明許費 中学校495,954千円)		耐震補強工事実施校	2校

3 事業コスト

事業費	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (国)合併推進体制整備事業補助金(補助率10/10) 安全・安心な学校づくり交付金(1/2、1/3) 建築物耐震改修等事業補助金(1/3以内) (22→23繰越明許費 中学校495,954千円)
	特 定 財 源	国庫支出金 県支出金 起債 その他	303,356 668,200 37,257 計 (A)	202,590 292,700 17,207 512,497	
	一般財源			100,766 375,400 20,788 496,954	
	正規職員所要時間 臨時職員等所要時間 人件費計 (B)				
	トータルコスト A+B		0	512,497	

4 事業に対する市民や議会の意見

保護者及び議会より児童の安全と避難施設として早期対策の要望がある。
議会より窓硝子の飛散防止対策の要望がある。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞在者、財産の災害や火災の被害を軽減する	施策の成果指標又はムトス指標	市民が災害に備えている割合(%) 耐震化実施箇所率(ムトス指標)
			4年間の振り返り	
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	後期に向けた課題	・精度の高い耐震診断を行い、丸山小、追手町小、松尾小、下久堅小、上久堅小、千代小、千栄小、龍江小、竜丘小、川路小、三穂小、山本小、伊賀良小、鼎小、和田小、飯田東中、竜崎中、飯田西中、鼎中学校の19校の耐震補強事業が完了した。一部の縁越事業がある。		
		・校舎本体の耐震補強工事は終了するが、屋内運動場の天井改修を耐震補強に関連し行う。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてきましたか	後期に向けた課題	・学校の行事等ある中の工事のため、学校との連携を重点に工事を実施した。	4年間の振り返り	
コストを削減するためにどのような工夫をしてきましたか	後期に向けた課題	・耐震補強工事に併せて付帯工事の実施、足場等の関係から屋根及び外壁調査等を併せて実施した。	4年間の振り返り	
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	後期に向けた課題	・受益者は児童生徒及び住民。災害時には避難場所となる市立小中学校は、市が維持管理する必要がある。	4年間の振り返り	
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか)	後期に向けた課題		4年間の振り返り	
全体を通じて	後期に向けた課題	・計画どおり工事が実施できた。	4年間の振り返り	
		・東日本大震災を受け、耐震補強の重要性を実感している。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や目標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input checked="" type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
--	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------